

# 極楽寺だより



2017(平成29)年6月号

発行所：極楽寺 (浄土真宗本願寺派) ☎759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎0837-43-0625

## 夏法座のご案内

雨の季節には、仏さまの教えを聞き、

静かにわが身をふりかえる「安居会」

「夏安居」という行事が、お釈迦さま

の頃から伝わっています。

田植時期の疲れを、お法の水で流そうという、ゆ

かしい夏の法座です。お誘いあわせ、お参り下さい。

六月十四日(水)

昼一時半 夜七時半

六月十五日(木)

昼一時半

講師 福岡県飯塚市

明信寺住職

田中諮朗師



14日昼席では、ホワンシー・コーラスの皆さんに歌っていただきます。皆さんも一緒に、楽しく歌って下さい。

ご予約下さい

第54回三隅地区親鸞聖人鑽仰会法座

期日：9月11～12日 会場：中村報恩寺

講師：安方哲爾師 ※お寺で送迎致します。遠慮なくお申し出下さい。

# ご報告

5月14日の総代・世話人会議にて、  
下記の通り収支決算が承認されました。

## 2016（平成28）年度極楽寺門徒会収支決算書

	費目	金額(円)	摘要	
	門徒会会費	834,000	延278戸×3,000円(野波瀬延111/在方延109/町外延58)	
収入	本山特別懇志	190,000		
	本山教化助成金	322,579	本山特別懇志進納によるもの	
	貯金利息	29		
	特別会計より回金	1,991,860		
	保険金収入	36,030	本堂欄間 破損につき	
	前年度繰越金	1,564,672		
	合計	4,939,170		
支出	負担金	2,539,600	本山特別進納金	2,131,860
			本山賦課金	245,600
			山口教区費	125,540
			大津東組 組費	36,600
	研修会費	5,000	組総代会総会(7/29)	3,000
			教区総代会公開講座(10/26)	2,000
	火災保険料	295,240	西部農業共済	83,460
			本堂 6,700万円 JA共済	161,680
			庫裏 4,000万円 JF共済	50,100
	会議費	60,000	5/20 総代・世話人会議	
	慶弔費	0		
	特別会計へ回金	322,579		
	予備費	136,030	熊本地震義援金 欄間修理代	
合計	3,358,449			
差引残金		1,580,721	漁協普通預金	

### 2016(平成28)年度極楽寺門徒会 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要	
収入	前年度繰越金	4,366,992	漁協定期預金①	2,292,380
			漁協定期預金②	2,000,000
			普通預金	74,612
	通常会計より回金	322,579	本山特別懇志進納により、教化助成金として納入されたもの	
	利息	672	定期486円 普通預金1円 定期②解約185円	
合計	4,690,243			
支出		1,991,860	本山特別懇志進納のため、通常会計へ回金	
合計		2,698,383		

# 極楽寺門徒会会計についてのお知らせ（重要）

—門徒総代長 木村慎治—

## 【その1】 門徒会費の納入をお願いします。

2017(平成 29)年度の門徒会費は、前年通り 3,000 円です。

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺へ納入して下さい。

## 【その2】 来年度より、門徒会費が 4,000 円となります。

5月14日の総代・世話人会議で、来年度より門徒会費を4,000円にさせていただくことに決まりました。昨今の、自然災害の発生状況を考えて、2013（平成25）年度に保険の見直しをしました。そのため、支出が増え、繰越金が増えないままになっています。

非常時や大きな支出（本山への進納金や、お寺の修理等）の際に、ご門徒の負担を少しでも減らす為にも、会費を値上げし積み立てておきたいという思いからのことです。

皆さまには、大変申し訳ありませんが、何卒ご理解の上、ご協力お願いいたします。

前納しておられる方につきましては、納入金額から調整をさせていただきます。

## 【その3】 <sup>しんぼち</sup>新発意・<sup>とくど</sup>得度のお祝いについて。

今年より住職ご長男が、京都・龍谷大学で浄土真宗の学びを始められました。今年度中に得度をし、<sup>しんぼち</sup>新発意（元々は、仏門に入って間もない者を指す言葉から、得度をした寺院後継予定者を指す意味に使われています。）となる予定です。

5月14日の総代・世話人会議でご協議をいたし、得度に必要な袈裟等をお祝いとして門徒会計より購入し進納することにいたしました。皆さまのご了承をお願いいたします。

※ 昨年度は、本願寺より特別懇志の依頼があり、決算書の通り進納いたしました。

『伝灯奉告法要』（本願寺御門主の継職法要）2016～17年に厳修 『親鸞聖人御誕生 850年慶讃法要』『立教開宗 800年慶讃法要』（浄土真宗の教えが開かれて800年のお祝いの法要）2022～24年に厳修という、大きな法要が勤まるためです。

# オシエノカケラ



極楽寺だよ！  
エッセイ

声に出して、お念仏称えましょう

## キャンペーン 第三弾

# 「アンテナは張られているか」



千原ジュニアという芸人さんをご存知

ですか？しゃべりが上手い、トークの達人

です。身の周りに起こった事件を面白

くもまあ、あれだけ身の周りに面白い事件が起こるな」と

感心するのは。その千原ジュニアさんがある時、こんな

ことを言っておられました。

「人を常に笑わせないといけないって、

大変じゃないですか？」とか聞かれても、

／別に大変だとは思わないですね。／面

白いことを見過ごしてるか見過ごしてな

いかということも大きいと思います。例

えば、植物学者の人は、道を歩いてて



「あそこにあんな花が咲いてた」「あそこにあんな木が生

えてた」と分かるけど、僕は同じ道を歩いててもなにも分

からない。／それとおんなじで、ほんまに面白い芸人が、

誰よりも一番笑ってますからね。／見つけようと思った

ら、面白いことはそのへんにゴロゴロ転がってる。

（『うたがいの神様』千原ジュニア）

つまり、面白い芸人の周りにだけ、面白い事件が起こっ

ているのではないのです。面白いことを見つけるアンテナ

がしっかり張られていて、キャッチしようとする意識が高

い芸人が面白いのであって、見つけられないのは芸人とし

ての意識が低いだけなのだと言われるのです。

この話を聞いて、小説家の吉川英治さんを思い出しま

す

した。吉川さんは人から色紙を頼まれると、必ずといっていいほど「我以外、皆我が師なり」という言葉を書かれたそうです。これは、吉川さんの周りには、先生と仰ぐことのできるような立派な人ばかりだったということではありません。どんな人からも何かを学ぼうという、吉川さんの生きる姿勢の素晴らしさが表れている言葉なのです。

つまり、学びのアンテナがしっかり張られ、キャッチしようとする意識が高い人。誰からも学びとっていこうとする人。そういう人こそが、人生を豊かに生きる人であり、学ぼうとも、自分の姿を振り返ろうともしない人は、人生を心貧しく生きているのだと教えられます。

そういえば、ユーミンこと松任谷由実

さんは、『やさしさに包まれたなら』

(ジブリのアニメ『魔女の宅急便』の主題歌

にもなりました)という曲で、「カーテン

を開いて、静かな木漏れ日の やさしさを

に包まれたなら きっと、目に映る ↓

すべてのことはメッセージ」と歌いました。木漏れ日を、単なる自然現象と見るか、やさしさに包まれていると感じるかは、目に映る景色の深さは全く違うことでしょう。「目に映るすべてのこと」を私へのメッセージと感じることが出来る人生って、きっと豊穡で、輝いたものであるはずです。



そして親鸞聖人は、「この世は、教えや呼びかけに満ち満ちている」と教えて下さった方でした。世界中の仏様が「南無阿弥陀仏」と称え、その響きで、満ち満ちて下さっている。その「南無阿弥陀仏」こそ、この私への教えであり、呼びかけなのだ。

しかし、一言で「南無阿弥陀仏」と言っても、そのメッセージの中身は無限です。一度聞いただけでわかるものではありません。 ↑

「南無」にはこういうおいわれがあり、「阿弥陀仏」にはこ  
ういうおいわれがあったのか。阿弥陀さまとは、どんな仏  
様で、どんな生き方をされるのか。それを知らされる中  
で、「ああ、これが真実の生き方、考え方というものか。私  
の考え方はねじれていたな。」ということに気づかされてい  
く。導かれ、育てられ、時には励まされ、抱きしめられ  
る。これが、教えを聞く、呼び声を聞くということなので  
す。

私たちの先輩方は、声に出してお念仏を称え、そのお念  
仏に込められた教えや心を聞きながら、阿弥陀様に導か  
れ、共に人生を歩まれました。その念仏の  
今ここに届けられているのです。



ところで、「馬の耳に念仏」という

ことわざがあります。「馬に念仏を聞かせても、その有難さ  
がわからないことから、人の意見や忠告に耳を貸そうとせ  
ず、少しも効果がないこと。」という意味で使われます。↓

つまり、学びのアンテナが張られていない人、学ば

うともせず、聞く耳を持たない人を表すことわざです。

しかし、よくよく考えてみると、近頃、この譬えを使える

人は限られているのではないのでしょうか。なぜならこの譬

えは、念仏の有難さを知った人だから言えたのでしよう。

今の時代、念仏の有難さをどれだけの人が知っているので

すか？知らないままに使うならば、まさに、自分が「馬の

耳に念仏」状態だということですよ。

この私に呼びかけられている教えを、聞く身となる。声に

出してお念仏を称えては、私の生き方を見つめ直す。その

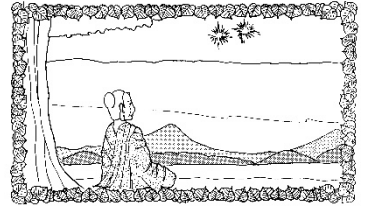
営みが、歩むべき方向へと導き、人生を豊かに耕していく

ことに繋がるのだと、教えられる

のです。 ■



※「聞く耳を持たない」という表現は、聴覚に難のある人を蔑む  
言葉ではありません。私の態度の問題です。聴覚に難があっても、  
学びのアンテナが張られている人は、いくらでもおられます。



## 極楽寺揭示伝道 けいじてんどう



## 6月の言葉

私たちは、毎朝鏡を見ます。そして、髪をセットし、お化粧し、着る服を選び、姿形を整えます。より美しく、見っともない姿になってはいないか、悩むこともありますし、人によってはお化粧に三十分から一時間かけるといいう方もあるのだとか。

しかし姿形は整えても、見っともない生き方を晒してはいないかと、自分の生き方を振り返ることをしているでしょうか。服装も、ヘアースタイルも、お化粧もバッチリだとしても、生き方そのものが見苦しいものであれば台無しです。

例えば、「ネクタイが曲がっているよ」というくらいの

指摘なら、「ありがとう」と素直に言えますが、「心が曲がっているよ」「根性が歪んでいるんじゃない？」と言われたら、素直に受け取ることはできません。とても傷つきます。でもそれが、自分が日頃晒している本当の姿なのだとしたら、そちらの方が恥ずかしいのでは・・・。

ならば、髪かたちを気にするよりも、まずは心のすがたを見つめることの方が大切ではないでしょうか。

善導大師という方は、「経教は、鏡の如し」と言われています。仏法とは、鏡のように、自らの生き方を見つめさせて下さる教えなのだ。手を合わせ、仏様の光に照らされながら、どんな生き方を晒しているかを見つめ、整えることは、人間が生きる上でとても大切な時間であるはずですよ。

そうでもしなければ、見っともない生き方をしているも、気づくことはありません。これほど、恥ずかしいことはないでしょう。深く反省する、今日この頃です。■



人間は

偉いものではない

尊いものです



安田理深

## 5月の言葉

「偉い」と「尊い」は違います。

「偉い」とは、普通より優れているとか、社会的に高い地位にいることを表すようですが、そこにはどうしても、「人を見下す」という上下関係があるように感じられます。

一方、「尊い」とは、そのものに価値があることを表します。どちらが上か下かではなく、そのものに輝きが見いだされたときに、使われる言葉ではないでしょうか。

「お客様は、神様です」というフレーズを聞くと、二〇〇一年に逝去された昭和を代表する歌手・三波春夫さんを思い浮かべる方は、まだまだ多いのでは。ところが三波春夫さんのオフィシャルサイト（インターネットのホームページ）には、この言葉が三波さんの真意とは違う意味に捉えられていることを、

悲しむ一文が掲載されています。

例えば買い物客が「お金を払う客なんだからもっと丁寧になさいよ。お客様は神様でしょ？」と、いう風になるようです。そして、店員さんは「お客様は神様です、って言うからって、お客は何をしたって良いって言うんですか？」という具合。俗に言う“クレマー”には恰好の言いわけ、言い分になってしまっているようです。

（三波春夫オフィシャルサイトより）

三波さんは、「お客様は神様です」という言葉が流行った背景には、人間尊重の心が薄れたことがあったのではないかとされています。尊重の心が薄れたからこそ、逆に、周りの人を「神様」のように敬い尊んだ三波さんの態度が共感されたのだろうと。ところが今や、人を見下すためにこの言葉が使われている。それは、三波さんも悲しまれるところでしよう。



以前、こんな笑い話を聞きました。

ある店で、店員に無理難題のイチヤ

モンをつけ「客は神様だろう！」と

怒鳴っていた客がいたというのです。

すると店員さんは、見事な切り返し。

「申し訳ありませんが、他の神様のご迷惑になりますので。」

確かに「お客様が神様」なら、あなただけが偉いのはあり

ません。みんなが尊重されなくてはならないでしょう。

何より、我がままの為にこの言葉を使うということは、あな

たを尊ぶ根拠を、あなたが壊しているということ、つまり自

分を貶めていることでもあるのです。

私は、宮城 顛先生という先生からいただいた

念仏者とは、一切の衆生(すべてのいのち)、

一切の人間を、

「御同朋」(同じいのちに連なる兄弟)として見出していく、

そういう心をたまわった者であり、



そういう歩みを開かれた者である。

※( )内の訳は、住職

という言葉をも、とても大切にしています。

他国籍の人でも、他宗教の人でも、意見の違う人でも、

大嫌いなヤツでも、阿弥陀様から見ればすべてのいのち尊い存

在。そんな阿弥陀様のものの見方をいただいて生きるのが、

念仏者であるのだと。

これは、念仏者になれという押し付けではありません。私

の態度・生き方のお話です。阿弥陀様の眼から見れば、すべ

てのいのちは皆「尊い」存在だと願われているのです。で

は、私はどんな生き方をしているのか。気づけば「偉く」な

り、いつしか人を見下すことをしているのかもしれない。

それは阿弥陀様の心から、最も遠い心だと言えるでしょう。

阿弥陀様の別のお名前を、そのはたらきから「施眼」、眼

を施すと言われます。阿弥陀様を通して、周りの方と出遇

う。自らと出遇う。そのことが自分自身の人生を、本当に尊

いものにしていくことなのだと思えるのです。■

## 第 35 回 児童念仏奉仕団のご案内

大津東組（長門・三隅地区の浄土真宗寺院）では、夏休みを利用して小学三年生から中学一年生を対象に、ご本山参りを企画しております。是非、ご参加のお呼びかけをお願いします。



- ◆期 日 2017（平成 29）年 7 月 25 日（火）～27 日（木）二泊三日  
本願寺参拝 大阪ユニバーサルスタジオジャパン
  - ◆対 象 小学三年生～中学一年生
  - ◆参加費 41,000 円（中学生は、43,000 円）
  - ◆申込み 6 月 30 日までに極楽寺へ
- ※ 詳細は、お寺へおたずね下さい。



## 世話人の交代について

下東方の世話人が、小林英昭さんから河野光芳さんに代わることになりました。小林さん、有難うございました。河野さん、どうぞよろしくお願いします。

今年に入り、元世話人の黒瀬彰己さん（野波瀬）、岡村榮一さん（豊原）、高野芳雄さん（野波瀬）がご往生されました。長年お世話いただき、本当に有難うございまし

□長門市・村田清風記念館の展示リニューアルに携わり、スーパーハードな日々を送っています。とはいえ、歴史には素人なので、専門分野の方々にお世話になっているのですが。□先日、山口大学の歴史の先生を訪ねたときのこと。研究室がある人文学部棟へ向かう際、「人文学部」の看板に「Faculty of Humanities」と書き添えられていたことに気づき、ハツとなりました。「人文学部」とは「人間学（the humanities）」を学ぶ学部なのですね。つまり文学、言語学、哲学、宗教学、歴史学、美学などの様々な分野から「人間を学ぶ」場なのです。□近頃は「役に立つ学問」（=お金儲けにつながる学問）ばかりが奨励され、「人文学部はいらない」と言い切る人もおられるようです。しかし、人間とはどんなことに喜びや悲しみを感じ、感動し、どんな失敗をしたかという「人間」の深みがわからなかったら、幾らお金を儲けても使い道を誤ってしまうのではないのでしょうか。□映画監督の今村昌平さんは、自らが設立した映画学校の理念を「人間とは、かくも汚濁にまみれているものか、人間とはかくもピュアなるものか、何とうさんくさいものか、何と助平なものか、何と優しいものか、何と弱弱しいものか、人間とは何と滑稽なものかを、真剣に問い、総じて人間とは何と面白いものかを知って欲しい。」とされています。続けて「そしてこれを問う己は一体何なのかと反問して欲しい。」と。この視点が見失われる時、他人も自分も、金儲けの手段や道具にしか扱わない、寒々とした世の中になるのではないのでしょうか。いや、既になっていたりして。□先人の営み、取組み、間違い、喜びを学ぶ場として、歴史文化を継承していく一助になればと思いながら、清風記念館の展示に頭を悩ませている今日この頃です。

（住）